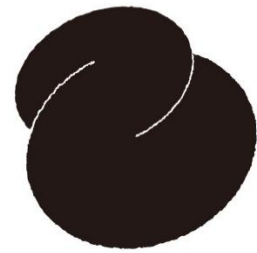


長寿の湯の再開について



長寿の湯

1. これからの長寿の湯について

(1) 再生に込めた思い

私たちは、銭湯とは満たされたり整ったりする場所ではなく、お湯の中でふっと力が抜けて、気づけば自分が空（から）になっている、そんな場所だと考えています。毎日を生きる体と心を持ってお風呂に入り、お湯の中で力を抜き、空っぽになって帰っていく。長寿の湯もまた、そんな場所であり続けてほしいと思っています。

そして長寿の湯は、銭湯という箱の中に閉じるのではなく、西那須野の街の一角に自然に溶け込む「縁側」のような存在であってほしいと思いました。お風呂上がりに瓶ビールを傾ける人、畳の大広間でうとうとする人、縁側でスイカを食べる子ども、待ち合わせをしている人——0歳から100歳までが、それぞれの時間を過ごす小さな街の風景。外と中の垣根がなく、国籍も年齢も関係なく、ただそこにいられる場所として長寿の湯を再生したいと考えています。

(2) キャッチコピー

「ここで、空（から）になる。」

お湯に浸かると、ふっと力がゆるむ。

湯気の向こうで、日常が少し遠くなる。

水の重さや、あたたかさに身をあずけて、ゆっくりほどけていく。

からっぽになって、また日常へ戻っていく。

長寿の湯は、そんなひとときに、そっと触れられる場所です。

(3) ロゴマーク

長寿の湯のロゴは、瓢箪（ひょうたん）をモチーフにしています。

瓢箪は、中をくり抜いて空っぽにすることで、はじめて器として使えるようになります。銭湯もまた、満たされに来るのではなく、空になりに来る

場所なのではないか。重たい体と心を持って入り、お湯の中で力を抜き、空っぽになって帰る。—その往復を、人々は何百年も繰り返してきました。瓢箪という器の本質と、銭湯という場所の本質が、「空になる」という一点で重なる—そこに、このロゴの必然性があると考えます。

また、ロゴタイプは、派手さや洗練さではなく、地域の利用者が懐かしさを覚えるような、手触り感のあるあたたかさと未完成さを醸し出すことを意識し、長寿の湯がいつまでも続くように願って制作しました。

2. 営業形態

利用料金	大人(12歳以上) 460円、中人(6歳以上12歳未満) 200円 小人(6歳未満) 100円 ※サウナは別料金 300円(一律)
営業時間	平日 午前10時から午後11時 土日祝日 午前7時から午前11時
定休日	月曜日
営業開始日	令和8年7月26日(日) 午前10時から
付帯設備	「バーカウンター」 軽飲食提供(アイス、アルコール等) 「ふれあいの大広間」 休憩所、イベントスペース

3. プレオープン・グランドオープン

(1) プレオープン

① 7月26日(日)から8月9日(日)まで

対象者：西那須野地区に居住・通勤・通学する方

② 8月11日(火)から9月1日(火)まで

対象者：那須塩原市に居住・通勤・通学する方

※ 確認ができる書類をお持ちください。

(2) プレオープンイベント

7月26日(日)午前9時40分から

・事前申し込み不要。

・関係者挨拶、テープカット等セレモニーを予定。

(3) グランドオープン 9月2日(水) 午前10時から

※ 同日、イベントを開催予定。



◀ 長寿の湯入口



◀ エントランスホール



◀ 番台付近



◀ 浴室内

株式会社ゆつむぎ から 皆様へ

この度、長寿の湯を「街の銭湯」としてリニューアルさせていただくこととなりました。長寿の湯は、一般公衆浴場としての許認可を申請予定で、実現すれば栃木県内の街の銭湯は3軒から4軒へと増えることになります。

銭湯は、単なる入浴施設ではなく、地域に暮らす人々の生活を支え、人と人との関係性をゆるやかにつなぐ「社会的なインフラ」だと考えています。本プロジェクトを通して、西那須野という地域において、そして栃木、日本においても、街の銭湯という文化がこれから先も途切れることなく続いていく一助となることを願っています。

そして、長寿の湯が、日々の暮らしの中でふと立ち寄り、いったん自分を空（から）にできる場所でありながら、人と人、人と地域、そして時間がゆるやかに紡がれていく、そんな場であり続けられるよう、気持ちのいいお風呂を沸かしてお待ちしております。

